

岡山県における少花粉スギの苗木育成等について

平成20年2月に「少花粉スギ・ヒノキ普及推進プラン」を作成し、現在、スギについては、少花粉（花粉量が従来の1%以下）苗木の供給体制の整備、モデル林の設置等を進めている。

1 経緯

- ・岡山県森林研究所内に、本県の気候等に適した少花粉スギ（10品種）を植栽する採穂園（4箇所）を平成7年度以降に順次造成
- ・県では、苗木生産者に少花粉スギ採穂園造成用の苗木を平成21年度から23年度にかけて配布済み
- ・現在は、苗木生産者が採穂園を造成中であり、平成26年度からは植林用苗木を約5千本出荷できる見込み

2 苗木生産者による少花粉スギ採穂園での管理状況（H21～）

- ・生産者：4名
- ・管理本数：1,036本
- ・今後の生産見込み：〈H26：約5千本〉⇒〈H29：約1.4万本〉
※県内のスギ苗の需要量は年間1万本程度で推移している。

3 少花粉スギモデル林の設置

- ・H22年度：美咲町（0.2ha、600本、5品種）
- ・H23年度：奈義町（0.1ha、330本、3品種）
- ・H24年度：新庄村（0.1ha、300本、5品種）
※いずれも森林研究所が育成した少花粉スギ苗木を使用。今後、7箇所を追加設置予定。



4 今後の取組・課題

- ・国有林、市町村等の公的機関に、県山林種苗協同組合、県森林組合連合会等を加えた県内関係機関による連絡会議を開催し、少花粉苗木の安定供給を図る。（第1回5/23開催、今年度3回程度開催）
- ・モデル林を増設して普及啓発を図る。（3箇所→10箇所）
- ・スギ花粉は、数十kmから百km以上飛散することから、近隣県との連携した取組が必要